

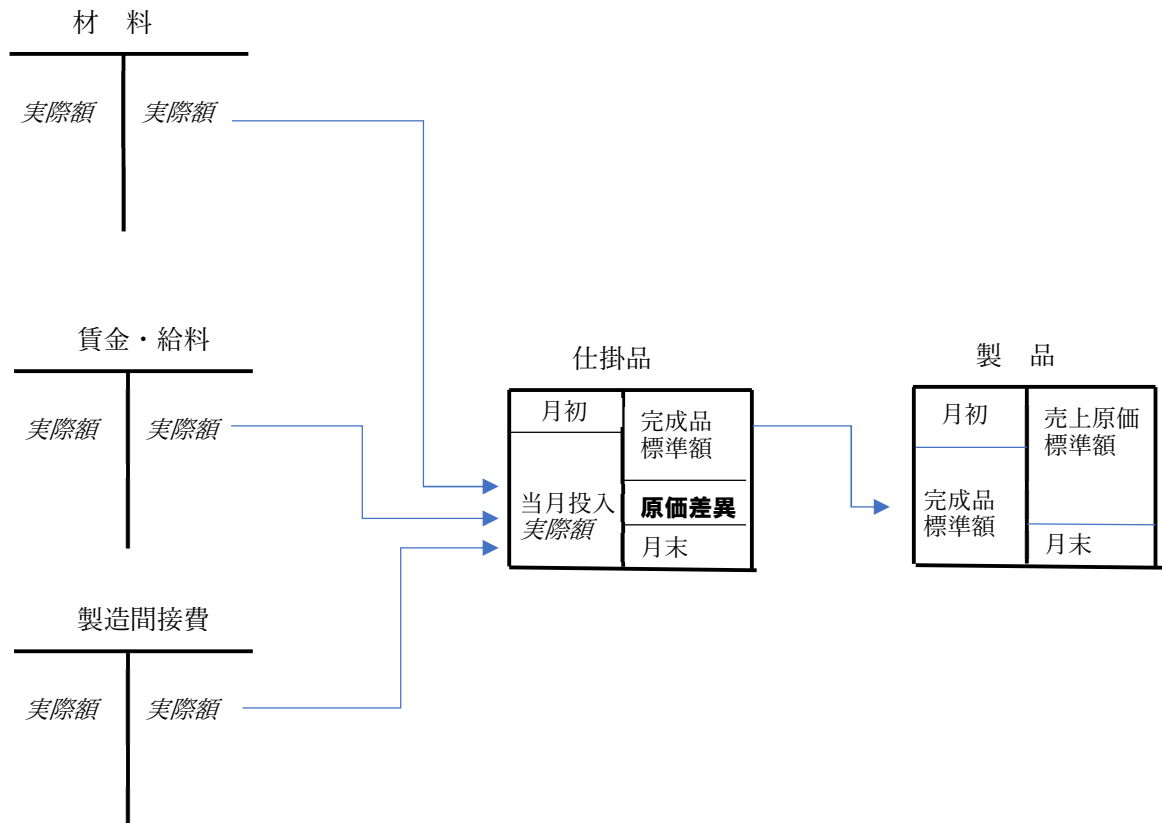
(1) 標準原価計算の勘定記入

(ア) パーシャル・プラン

仕掛品勘定を製品に振り替える際に標準原価を用いる方法。

⇒仕掛品勘定で標準原価差異が把握される。

【パーシャル・プラン】 パーシャル=部分的



差異が把握される場所に注目する！

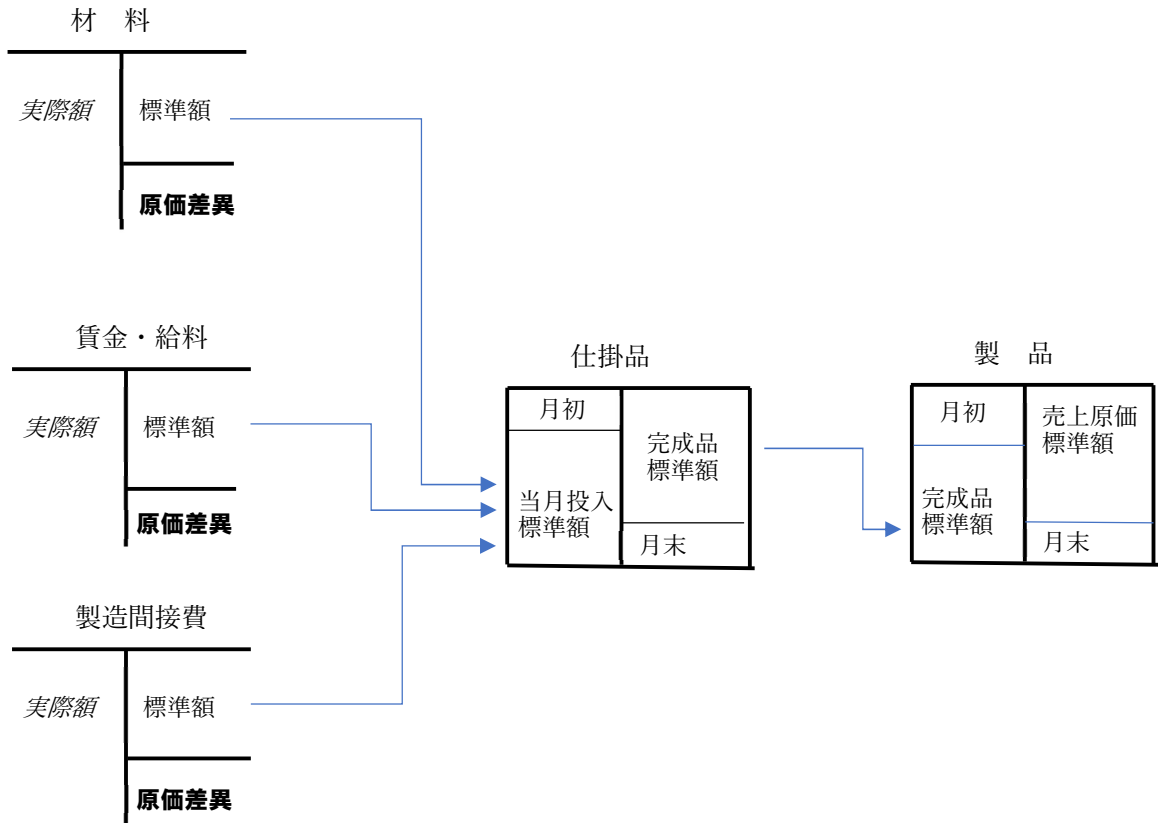
(イ) シングル・プラン

各費目を仕掛品勘定に振り替える際に標準原価を用いる。

⇒各費目（材料費、労務費、経費）で標準原価差異が把握される。

【シングル・プラン】

シングル：単一



差異が把握される場所に注目する！

(問題)

次の資料に基づき、①パーシャル・プランの場合と、②シングル・プランの場合の仕掛品勘定と製品勘定への記入を行いなさい。

1 X製品1個あたりの標準原価

直接材料費：@60円×4m=240円

直接労務費：@300円×0.4時間=120円

製造間接費：@375円×0.4時間=150円

合計 510円

2 当月の生産・販売データ

月初仕掛品	0個	月初製品	25個
当月投入	240個	当月完成	200個
合計	240個	合計	225個
月末仕掛品	40個(50%)	月末製品	20個
完成品	200個	当月販売	205個

※材料はすべて始点で投入。〈 〉は加工進捗度。

3 実際原価に関するデータ

- ・直接材料費実際発生額 58,000円
- ・直接労務費実際発生額 26,600円
- ・製造間接費実際発生額 35,000円

(1) パーシャル・プランで記帳

仕 掛 品	
直接材料費 ()	製品 ()
直接労務費 ()	月末有高 ()
製造間接費 ()	原価差異 ()

製 品	
月初有高 ()	売上原価 ()
仕掛品 ()	月末有高 ()

(2) シングル・プランで記帳

仕 掛 品	
直接材料費 ()	製品 ()
直接労務費 ()	月末有高 ()
製造間接費 ()	

製 品	
月初有高 ()	売上原価 ()
仕掛品 ()	月末有高 ()

(解答)

(1) パーシャル・プランで記帳

仕 掛 品	
直接材料費 (58,000)	製品 (102,000)
直接労務費 (26,600)	月末有高 (15,000)
製造間接費 (35,000)	原価差異 (2,600)

製 品	
月初有高 (12,750)	売上原価 (104,550)
仕掛品 (102,000)	月末有高 (10,200)

(2) シングル・プランで記帳

仕 掛 品	
直接材料費 (57,600)	製品 (102,000)
直接労務費 (26,400)	月末有高 (15,000)
製造間接費 (33,000)	

製 品	
月初有高 (12,750)	売上原価 (104,550)
仕掛品 (102,000)	月末有高 (10,200)